

平成29年度 学校法人北見大谷学園 認定こども園北見大谷幼稚園ほいくの森『学校評価報告書』

項目	重点目標（保育活動等）	達成状況・成果・課題	評価	改善・方策	学校関係者評価（意見・要望）
1 認定こども園の運営・組織	①教育（保育）理念・目標・重点目標・指導計画等に基づき、日常の保育を推進する。	〔○〕重点目標を意識した保育をすることができた。教育・保育課程については、相対的に満足度が低かった。	B	新教育・保育要領の完全実施を控え、内容の把握をするとともに園独自の指導計画を作成する。	妥当である。この改善策に沿って進めてほしい。重点目標に基づく保育ができたことは評価できる。先生方は、もっと自信をもって日常の保育に当たってほしい。
	②教職員が教育（保育）理念等の目標達成に向け、使命感と責任感を持って協働体制をつくり園の運営に参画する。	〔○〕園の目指す子どもの姿を共有しながら、日常の保育に従事することができた。課題意識が向上した。	B ↑ C	情報共有のための時間確保に努めながら（暮会充実等）、職員間の意思疎通を図る。園務分掌を整理し各業務を明確にする。	職員の仕事内容や責任が明確になるので、園務分掌を整理するのはとても良い。先生方も仕事がやり易くなるし、改善の視点が明確になると思われる。
	③保護者や地域の願いを受け止めながら、教育（保育）理念等の目標達成に向け、適切な内容で園の行事を行う。	〔○〕日常の保育の成果発表として子どもたちの活躍が見られた。計画段階での協議、終了後の評価・反省から次年度への見直しを持つことができた。	B	日常の保育の成果発表の場としての行事であることを踏まえ、保護者の理解を得ながら内容の充実を図る。	現在の行事の在り方については、保護者の理解を得られているのではないかと。子どもたちの負担を増やさないように配慮しながら、今後も内容の充実を図ってほしい。
2 保育の質の向上と子どもの発達支援	④教職員の研修の機会を確保し、保育の質の向上に努める。	〔○〕研修会参加が増え、職員の意識が向上した。北海道私立幼稚園協会の研究大会にもポスター発表で参加した。	B ↑ C	職員の担当業務に研修を位置付け、年間を見直しテーマ性のある園内研修を進める。	研修には時間とコストがかかる。研修の充実には保育教諭を育てる「要」である。「研修の成果は子どもに返る」という意識で、さらに充実させてほしい。
	⑤子どもの人権を尊重し、幼児一人ひとりの人としての尊厳を守るように配慮する。	〔○〕唯一昨年比で評価が下がった項目。幼児一人ひとりを大切に保育は園の根幹であることを再度確認する。	A ↓ B	子どもの権利について理解を深め、今後も幼児一人ひとりに寄り添った保育を心掛ける。	子ども一人ひとりを大事にする姿勢は当たり前であり、重要なこと。唯一評価が下がった項目という点は気になるが、先生方の課題意識の高さの表れと受け止めたい。
	⑥幼児一人ひとりの理解を深め状況に寄り添いながら健全な発達支援に努める。	〔○〕幼児の状況に目を向け、一人ひとりの話によく耳を傾け、幼児理解に努めた。	B	今後も、幼児一人ひとりを大切に発達支援を心掛ける。	保護者の評価も高く、子どもの良さを生かした保育が出来ている。今後も子どもを大切に発達支援に努めてほしい。
3 健康と安全	⑦幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保するための環境を整える。	〔○〕遊び道具を増やすなど、子どもが主体的に遊べる環境をつくるよう工夫してきた。	B	新教育・保育要領完全実施に向け「遊びを通して学ぶ」という理念で指導計画を作成する。	「遊び」の内容を充実させるとともに、日常の保育の様子を保護者に伝える工夫も必要。保育内容の情報発信に努めることも、保護者の信頼を得る上では重要なこと。
	⑧幼児期の生活に相応しい安全な環境を整えるように努める。	〔◎〕日常の安全指導とともに、安全点検を行った。消毒を徹底し衛生面にも配慮した。	A	今後も、安心安全な園生活ができるよう環境面を整備していく。	安心安全な園生活については、常にA評価でなければならない。今後も、継続してほしい。
	⑨避難訓練や交通安全教室を計画的に実施し、事故防止や感染症拡大防止に努める。	〔◎〕毎月の避難訓練と交通安全教室を実施。園内清掃や消毒等で感染症拡大防止に努めた。	A	事故防止マニュアルに基づく対応と計画的な訓練や安全教室の継続実施。	避難訓練が定着し、子どもたちの行動に表れているのは評価できる。感染症への対応も確である。
4 特別支援保育	⑩安心安全な給食提供に努めるとともに、幼児の発達に応じた食事の介助や食事指導を丁寧に行い、食育を充実させる。	〔○〕給食試食会の実施や給食だよりの発行で給食情報の提供に努めた。食物アレルギーへの対応も行った。	B	食事指導の継続。アレルギー事故を起こさない対応をしっかりと行う。さらに食育を充実させるための取組を行う。	子どもたちが、給食が好きでたくさん食べているのは好ましいこと。食育の充実を図るとともに、アレルギー事故を起こさない対応を今後も継続してほしい。
	⑪幼児一人ひとりの個性を把握し、保護者や関係機関との連携のもと、特別に配慮の必要な幼児への指導の充実を図る。	〔○〕保護者や関係機関（教育委員会や発達支援センター）と連携を図りながら、配慮が必要な幼児への支援を行った。研修の機会も増えた。	B ↑ C	「個別の指導計画や教育支援計画」は保護者とともに作成する。園内研修にも位置付け、園内での支援体制を整備する。	自己評価が上がったのは、先生方がこの課題に向き合ってきた結果だと思われる。どの子も差別されることなく、園児同士の人間関係がより豊かになるよう願っている。研修も充実させ幼児理解に努めてほしい。
	5 保護者や支援と関係機関等との連携	⑫園の公開や情報の積極的な発信・提供を行う。	〔○〕園だよりを発行し、こども園としての情報発信に努めた。ブログ更新やメール配信も適時行うように努めた。	B ↑ C	園だより発行と地域への回覧継続。ホームページやブログの更新、保護者との情報交流の充実。
⑬未就園児の保育体験、日常の子育て相談や情報提供など、子育てで家庭への支援を積極的に行う。		〔◎〕ウィズダムや一時預かり事業（チャイルド）の利用が増えている。日常の子育て相談にも適宜応じることができた。	A ↑ B	ウィズダムやチャイルドの内容充実を図る。今後も、子育て相談に応じていく。	高い評価になっていることは、園や先生方にとっても誇りにしていることだと思う。この事業を継続させ、さらに保護者の子育て支援に取り組んでほしい。
⑭市役所担当課や教育委員会などの関係機関や地域にある学校（小中高校）との連携や交流を積極的に行う。		〔◎〕関係機関との連携を重視した。地元の小中高校との交流や連携を積極的に進めることができた。特に小学校就学を見据えた交流に力を注いだ。福祉施設訪問も実施した。	A	今後も、地域の良さを生かし、小中高校や福祉施設との交流や連携を継続していく。	地域の良さを生かした各方面との連携や交流が盛んに行われているのは、とても喜ばしいことである。今後も継続して取り組んでほしい。みんなが安心して暮らせる地域の唯一の認定こども園として、今後の発展に期待したい。

【注意】・各目標の達成度を〔 〕に◎○△▲で記す。・評価をA B C Dで記す。評価欄の↑↓は昨年比。